



2013～2014

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

会 長：宮原建樹 副会長：日高邦孝
幹 事：原田宗忠 会 計：竹下 隆
事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一
例 会 場：サンホテルフェニックス

RI2730 地区ガバナー 大迫三郎
中部分区ガバナー補佐 尾崎敏弘
RI 会長テーマ **みんなに豊かな人生を**
2730 地区テーマ 職業奉仕の実践

例会会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地

『ロータリーを実践し

例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347

みんなに豊かな人生を』

事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

RI テーマ
みんなに豊かな人生を

第 1273 回例会 平成 25 年 9 月 11 日(水)

<今日のプログラム>

- 1.点 鐘
- 2.ロータリーソング
「我らの生業」
- 3.会長の時間
- 4.幹事報告
- 5.出席報告
- 6 ハッピー B O X 披露
7. 委員会報告
8. 会員卓話「岩切正司君」
9. 次週の例会案内
10. 点鐘

第 1272 回例会記録 平成 25 年 9 月 4 日 (水)

■会長の時間



会長 宮原建樹君
本日は第 1272 回、9 月最初の例会です。台風はどうやら消えお天気も回復し良かったなと思っています。私の仕事の話を少しさせて頂きます。先週末から又仕入れコストが上昇しましておそらく今日は 160 円台の価格が出ていると思います。J A の S S プリカが 158～9 円ですね。このような状況の中で国内では町村にスタンドが 1 店舗も無くなった所がいくつか出ています。宮崎でも須木村がそうになっています。私のところも 2 店舗閉めて今 3 店舗でやっておりますが我々業界も大変な岐路に立たされております。またこの様な状況に対応していく活動も起こってはおりますが、流れとしては現象へと移行しております。増えることはこの先ないのではないかと思います。こんな中頑張っている所であり

ます。池田前ガバナー補佐から頂いた資料の中から、ロータリーの出発点の話をしようと思います。

ロータリークラブは、20 世紀に入ってまだ間もない 1905 年、米国伊利ノイ州シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイディアを基にして、3 人の友人と語り合って発足させたものです。

ポールは、同業者間の親睦の難しさを痛感していたので、競争相手とならない友人の輪をつくりだそうと、会員を

一業種一人に制限したのです。これが、ロータリーの職業分類制度の始まりです(「ロータリーの発祥」、ロータリー情報集、1998 年版、7 ページ、RI 第 2660 地区規定情報委員会)。これによって、他の会員から商売上の利益を得ることを目的として入会したような人でも、クラブ内の温かい雰囲気にもまれて、利益よりもっと満足できるもの、すなわち「親睦」を見いだすことが出来るようになりました。他の職業の会員と話し合い、友情を育て、互いに協力して地域が抱えるいろいろな課題の解決を支援できるようになったのです。ロータリーの親睦は、単に会員同士が仲良くするというだけではなく、奉仕活動の基礎となるものでした。さらに、共に行う奉仕活動が一層親睦を深めることとなりますので、ロータリーは親睦と奉仕の融合の場となったのです。この職業分類制度によって、会員は、クラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うことになり、また、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになりました。この二つの責務が職業奉仕の基盤となったのです。先日の新人研修会で岩切講師が原価取引と相互扶助の話をされましたが、相互扶助を英語に訳しますとブースター (Booster) ですが、会員間だけの事で済ませてはいけない・・・ということになったのでしょね、1906 年 4 月に入会したカーターとそのスポンサー、フレデリックによって「社会に対して利益になる事をしなければこのクラブの将来は無い」と警鐘され、これの考えを受けて定款を作り提出したとの事です。「全く利己的な組織には永続性が無い、もしも我々がロータリークラブとして生き残り発展することを望むならば我々は市民に対して何事かをしなければならない、この定款の改正は市民に対する奉仕が出来るように、シカゴロータリークラブの定款の拡大を要請します。」という要請がなされました。またこれを受けてポールハリスが作り上げ、社会奉仕がロータリーに組み込まれたのです。その後シェルドンが入会して「職業奉仕」の理念が確立されたと言うことになります。これ以後の話は又、させて頂きます、ありがとうございました！

■幹事報告



会員数 (7月1日現在) 締め切り 9月11日 (木)
 * 「さどわらんまつり・えきんまえ祭り」実行委員長より感謝文書
 * 「ロータリーの友」への投稿・情報提供のお願い
 * 地球自然環境保護参加募集の案内(ポスター1枚)

■ 出席報告

●幹事 原田宗忠君

*北部分区ライラ
 のご案内～2013
 年10月19日(土)
 ～20日(日) 旭
 化成研修棟 研修
 生2名
 会員参加者 2名
 登録料 ¥1,000×

会員数 24名 免除 2名	出席数 18名 欠席数 5名
欠席者＝梶田君正岡君 相川君竹下君田邊君 中武君	出席率 81.8% 修正率 86.9%



■ハッピーBOX披露

●長倉祐一郎君

<ニコニコへ>

- 長倉恵子夫人～8月の誕生日祝有り難う御座います。次の誕生日も元気で迎えたいですね。
- 宮原建樹君～川畑さんをお迎えして。
- 宮原建樹君～メールの着信音が響きました“申し訳ありません”。
- 村上 實君～川畑さん入会おめでとうございませす。頑張ってください。
- 永野陽子君～9月のセレモニー有り難う御座います。ロータリーに入って9回目の誕生日を迎えました。

<財団へ>

- 岩切正司君～川畑恵理子さんの入会式をお祝いして。

先日的大雨の夜に大変親切な方に出会い感動した話を致します。もう一つは悪い話ですが・・・お各様へ納車の帰り自分の目の錯覚で信号を見間違い交通違反をしてしまいました。この時の警察官の対応には関心させられました。

■ 9月のセレモニー

* 9月誕生月～●藤堂孝一君 9月20日

●永野陽子君 9月15日

○岩切純子夫人

○荒武由美夫人

* 9月結婚記念月～◎日高邦孝&裕子ご夫妻

◎ 田邊揮一郎&明美ご夫妻



■ 川畑 恵理子さん入会式

* スポンサー村上實君



川畑さんとは、私の会社へ飛び込みで営業に来られた所からの始まりです。すでに例会・懇親会にも参加を頂き皆さんと交流いただきましたね。ご本人の佐土原クラブに対する印象も大変良いという事で本日入会式を迎える事になりました。どうぞよろしくお願い致します。

* 川畑恵理子新会員挨拶



《日本生命保険相合会社宮崎支社》

佐土原営業部 営業部長

この度入会させて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。営業部長という仕事上大変男勝りとなっております。気付かない事も多々あるかと思っておりますので皆様のご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い致します。

■ 委員会報告

●吉田康一郎君

9月18日を夜間例会「観月会」へ変更いたします。昨年同様1Fのテラスで行いますが、当日は入会式と米山奨学生 楊さんの参加にもなっておりますから2Fで30分程例会を行い移動するという形にしたいと思います。委員会对抗と家族も参加の「ボーリング

大会」も計画しております！又皆さまにはお知らせいたしますので参加協力をお願い致します。



写真

●藤堂孝一君

幹事報告の中でもありましたが、「ロータリーの友」への原稿依頼、この中で短歌募集もあります。こちらでもよろしくお願い致します。

■ 職業奉仕について

●藤堂孝一君

職業奉仕についてと題して宮原会長から話してくださいと前から言われていました。なかなか難しいテーマですが、田中毅P Gの資料にありますシェルドンの奉仕理念という中から抜粋して話をします。シェルドンは職業奉仕という言葉は使っていません。一般的な奉仕理念の中で、今日私たちが捉えている職業奉仕を語っています。

そしてシェルドンは一般的な奉仕理念を表す言葉として、He profits most who serves best を使っています。

この度の規定審議会で決議 10-182「社会奉仕に関する 1923 年の声明の第一項を、奉仕の定義として使用する」が採択されたことは、service abowb self と共に He profits most who serves best がロータリーの奉仕哲学として定められたことを意味します。すなわち、シェルドンの奉仕哲学がロータリーの奉仕理念として、正式に認められたことを意味します。

シェルドンは自らの奉仕の念を「奉仕理念に基づいて、継続的な利益をもたらす常連客を確保することと定義しています。

シェルドンの定義によると、世に有用な全ての事業に従事することを奉仕と呼んでいますから、みずからの事業を通じて、継続的な利益をもたらす顧客を確保することが、ロータリーの職業奉仕だということになります。He profits most who serves best がロータリーの奉仕哲学として残っている限り、この考え方を変えてはならないことを今一度確認しておきたいと思います。

R I が推奨している職業訪問や優良従業員の表彰やボランティア活動は、職業奉仕とは何ら関係ありません。職業奉仕の実践とは、奉仕理念に基づいて、継続的な利益をもたらす顧客を確保するために行うあらゆる活動のことです。

職業奉仕を実践による受益者はロータリアンです。まず自分の事業を建設的に発展させることで、対社会的奉仕活動が可能になります。不景気な時だからこそ、ロータリアン同士が助け合い、その力を

業界全体や地域社会に広げていく必要があるのです。

☆本日の食事☆



4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

次週予告

- | | | |
|--------|-----------|------------|
| 9月18日 | 夜間例会 | 『観月会』 |
| | 入会式・米山奨学生 | |
| 9月25日 | 会員卓話 | 「柳田光寛君」 |
| 10月2日 | フォーラム | 「職業奉仕について」 |
| 10月9日 | 職場訪問 | シーガイア「予定」 |
| 10月16日 | 会員卓話 | 「林萬松君」 |
| 10月23日 | 会員卓話 | 「正岡文郁君」 |
| 10月30日 | 特別休会 | |